

サンコール株式会社

(証券コード：5985)

株主交流会

平成30年6月22日
取締役 大谷忠雄

サンコール株式会社 株主交流会

1. 平成31年3月期 業績見通し
2. 中期経営方針
3. 新規事業 開発状況

サンコール株式会社 株主交流会

1. 平成31年3月期 業績見通し
2. 中期経営方針
3. 新規事業 開発状況

1. 平成31年3月期 業績見通し

【事業環境】

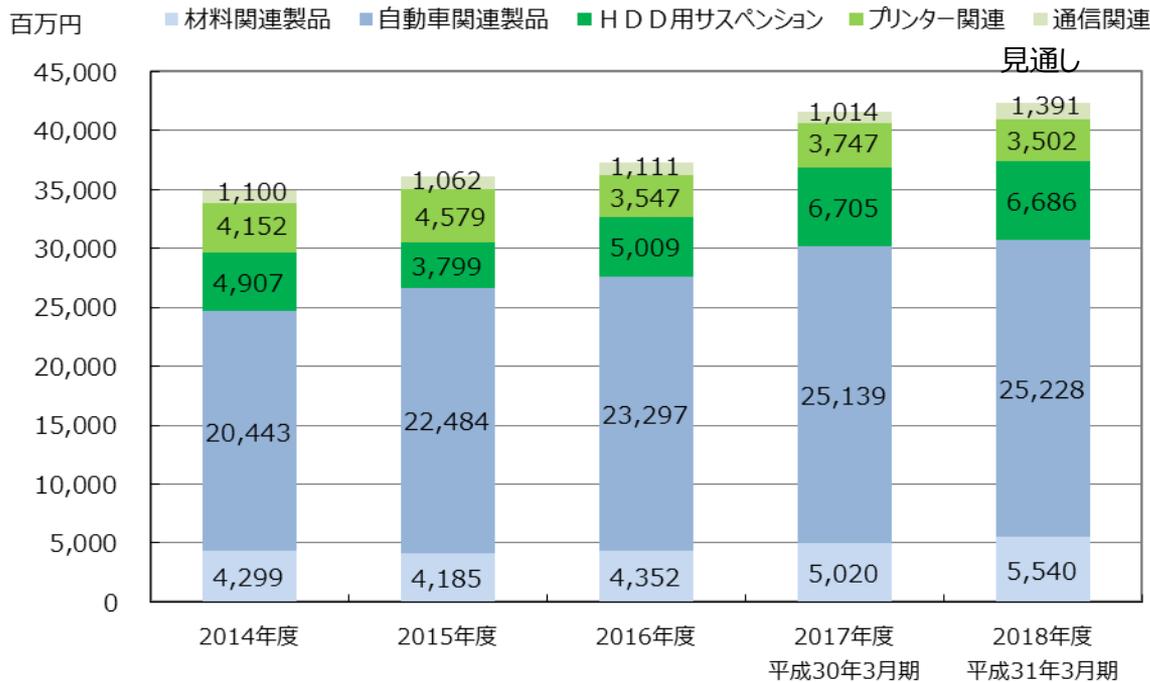
	平成30年3月期		平成31年3月期見通し
- 為替レート	ドル = 110.86円	→	106.00円
	ユーロ = 129.70円	→	130.00円
- 需要動向			
・自動車関連事業	：中国など海外需要が堅調、メキシコ子会社の本格的量産開始		
・電子情報通信事業	：前年度高水準の維持		

【通期見通し】

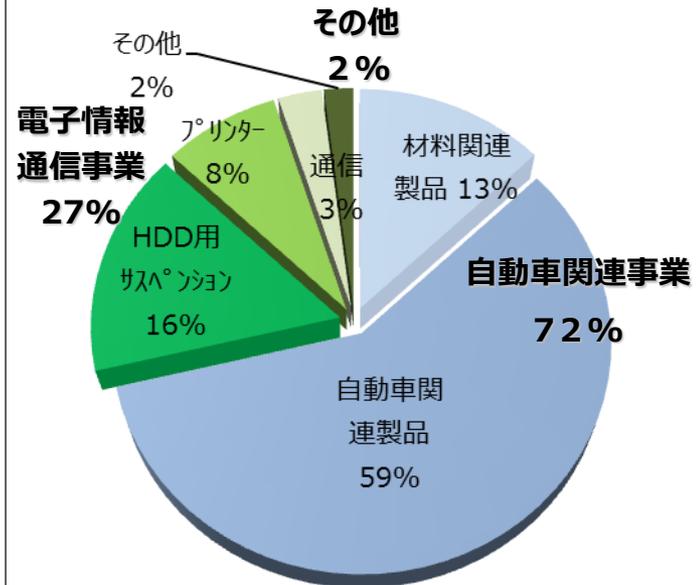
(単位：百万円)	平成30年3月期	平成31年3月期		
	実績	見通し	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	42,225	43,000	+775	+1.8%
営業利益	2,415	2,400	△15	△0.6%
経常利益	2,527	2,380	△147	△5.8%
当期純利益	2,125	1,800	△325	△15.3%

1. 平成31年3月期 業績見通し

事業別売上推移



事業別売上比率



－ H30/3期

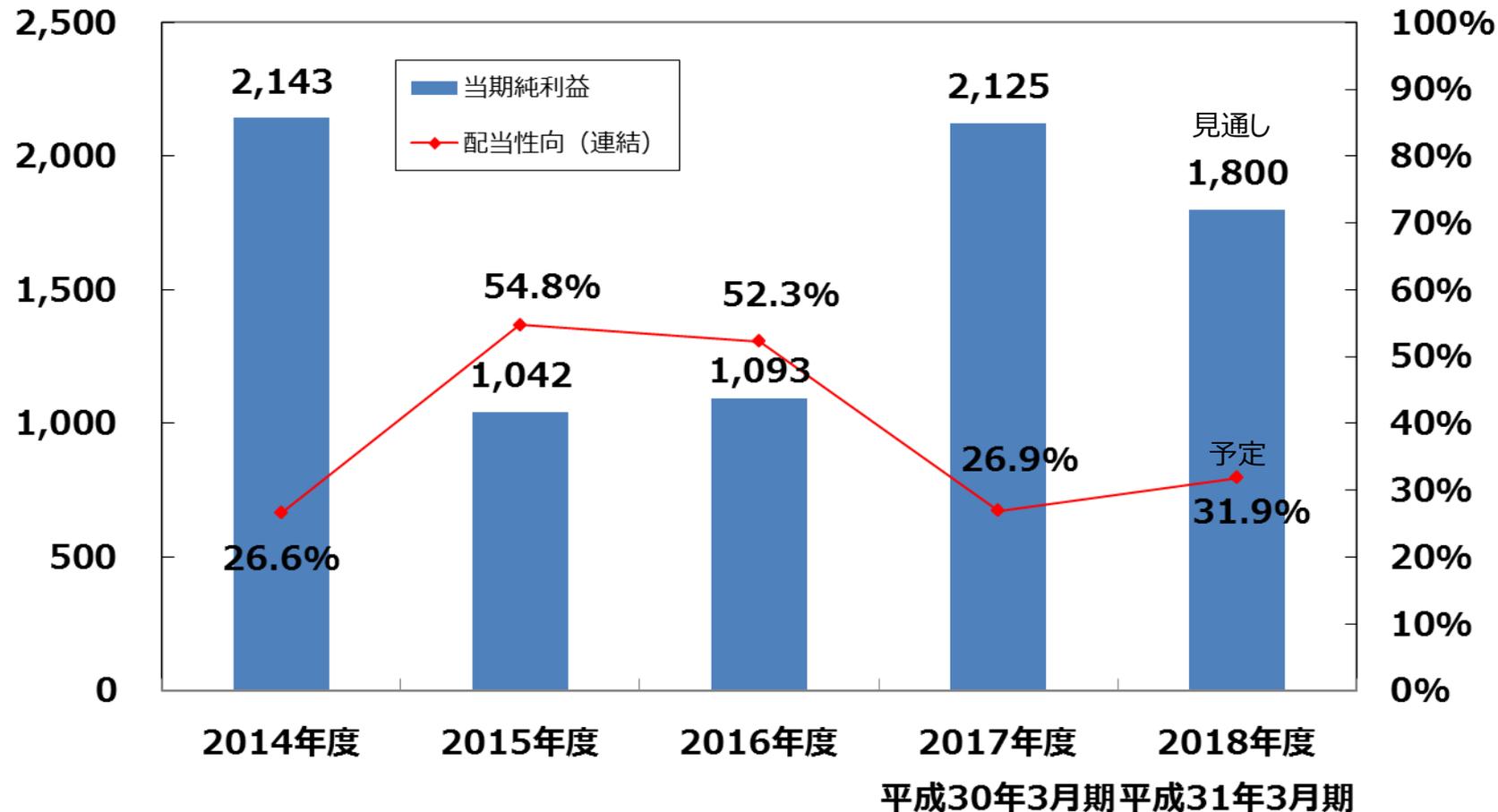
- 自動車関連事業 : 3拠点材料生産増、エンジン・ミッション用部品の伸長
- 電子情報通信事業 : HDD用サスペンション新モデル需要増、プリンター関連販売低迷なるも年後半に需要回復基調

－ H31/3期 見通し

- 自動車関連事業 : 国内、東南アジアで自動車材料・部品需要堅調
- 電子情報通信事業 : 需要は前年比増を見込むが為替影響から前年比微増

1. 平成31年3月期 業績見通し / 配当状況

単位：百万円



配当政策： 現行配当額1株18円の維持を下限目標

－ 2018年度： 中間配当 8円 / 期末配当 10円
 (予定) 合計 18円 / 配当性向 31.9%

サンコール株式会社 株主交流会

1. 平成31年3月期 業績見通し
2. 中期経営方針
3. 新規事業 開発状況

2. 中期経営方針

－ 中期計画 ローリング －

中期経営方針：

『企業価値向上』を目指し、コア事業の経営資源の効率化と成長分野への投資による事業の拡大発展を進める。

－ 事業別方針と進捗状況

- 1) 自動車関連事業：既存事業の基盤強化と拡大
 - － 精密機能材料：日本、中国、メキシコの量産体制確立により、グローバル最適生産・供給を推進。
 - － 精密機能部品：アジア地域、安全部品の拡販推進。

- 2) 電子情報通信事業：経営資源の集中と開発力、営業力の強化
 - － HDD用サスペンション：生産ラインの稼働率向上による拡販。
 - － プリンター部品/光通信用部品：開発、営業力の強化取組。

- 3) 新規事業：自動車電動化部品の開発、新素材の研究開発、医療・環境事業への参入
 - － 自動車電動化部品の量産開始、装着型リハビリロボット事業化推進。

2. 中期経営方針

— 自動車関連事業 —

基盤強化と拡大

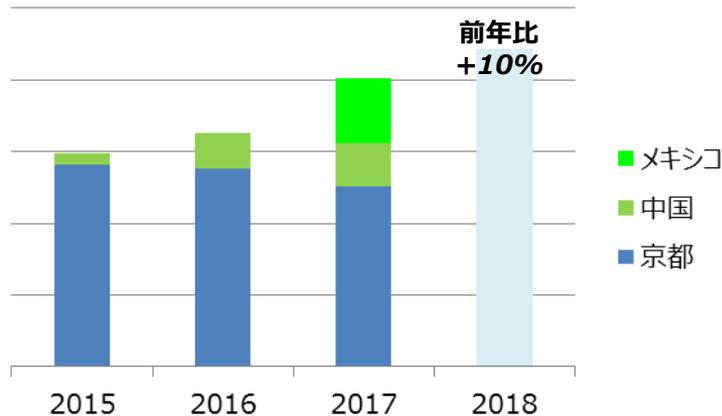
事業環境

— 自動車市場（グローバル）の拡大
 2017年乗用車販売台数： 97百万台
 2025年 “ ” 予測：114百万台

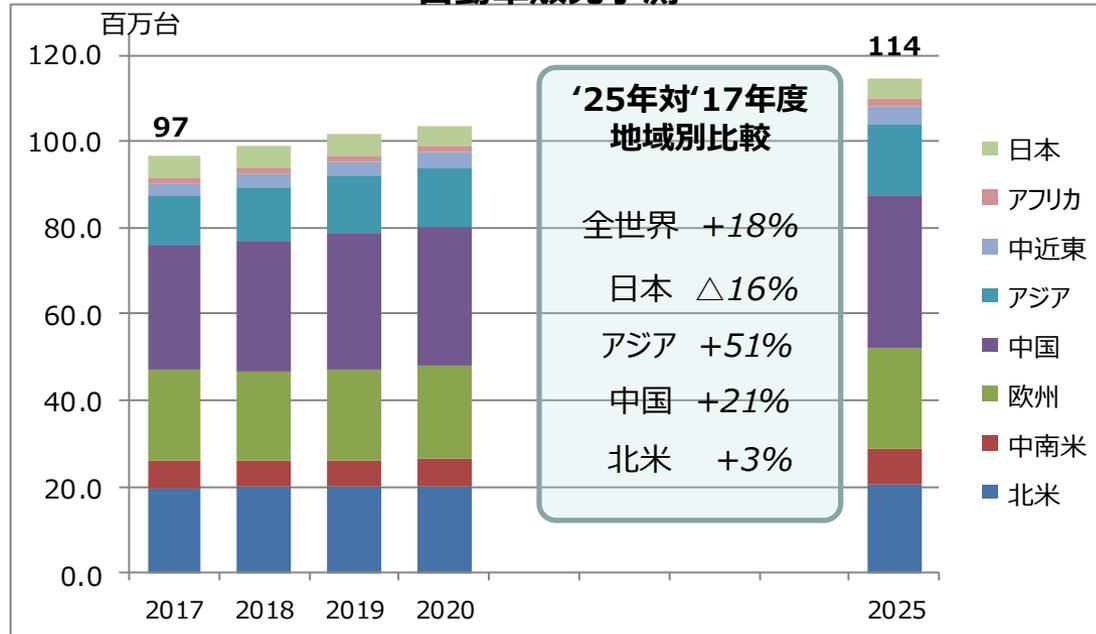
— 次世代自動車の普及予測
 2025年予想 114百万台
 ・ 内燃機関 103百万台 90%
 ・ EV/PHEV/HV 11百万台 10%
 * HVに48Vは含まず

グローバル需要増に対応
 -エンジン/ミッション 材料・部品
 -安全部品 シートベルトぜんまい

1) エンジン弁ばね用線材生産量



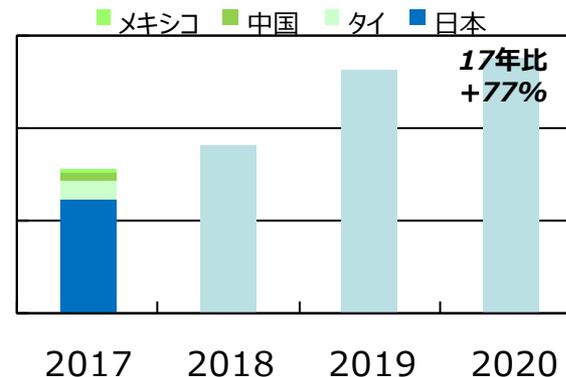
自動車販売予測



'25年対'17年度
地域別比較

全世界	+18%
日本	△16%
アジア	+51%
中国	+21%
北米	+3%

2) 安全部品/シートベルトぜんまい 生産能力拡大 (計画)



2. 中期経営方針

— 電子情報通信事業 —

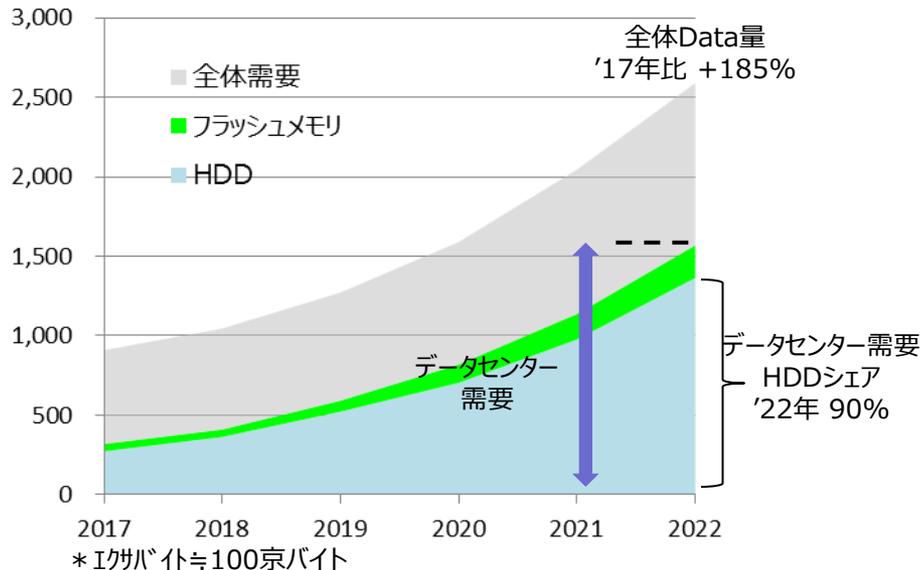
経営資源の集中と開発力、営業力の強化

事業環境

- BIG Data利用による情報量の爆発的拡大
- HDD需要は、フラッシュメモリとの用途住み分けと技術革新による記憶容量拡大により増加

— 記憶装置別記憶容量 将来予測

単位：EB (1000億バイト)



製品による需要トレンド

- 家電、携帯機器、PC、IoT機器
⇒ フラッシュメモリ、SSD搭載
- 企業、データセンター サーバ
⇒ “ニアラインストレージ”にHDD搭載

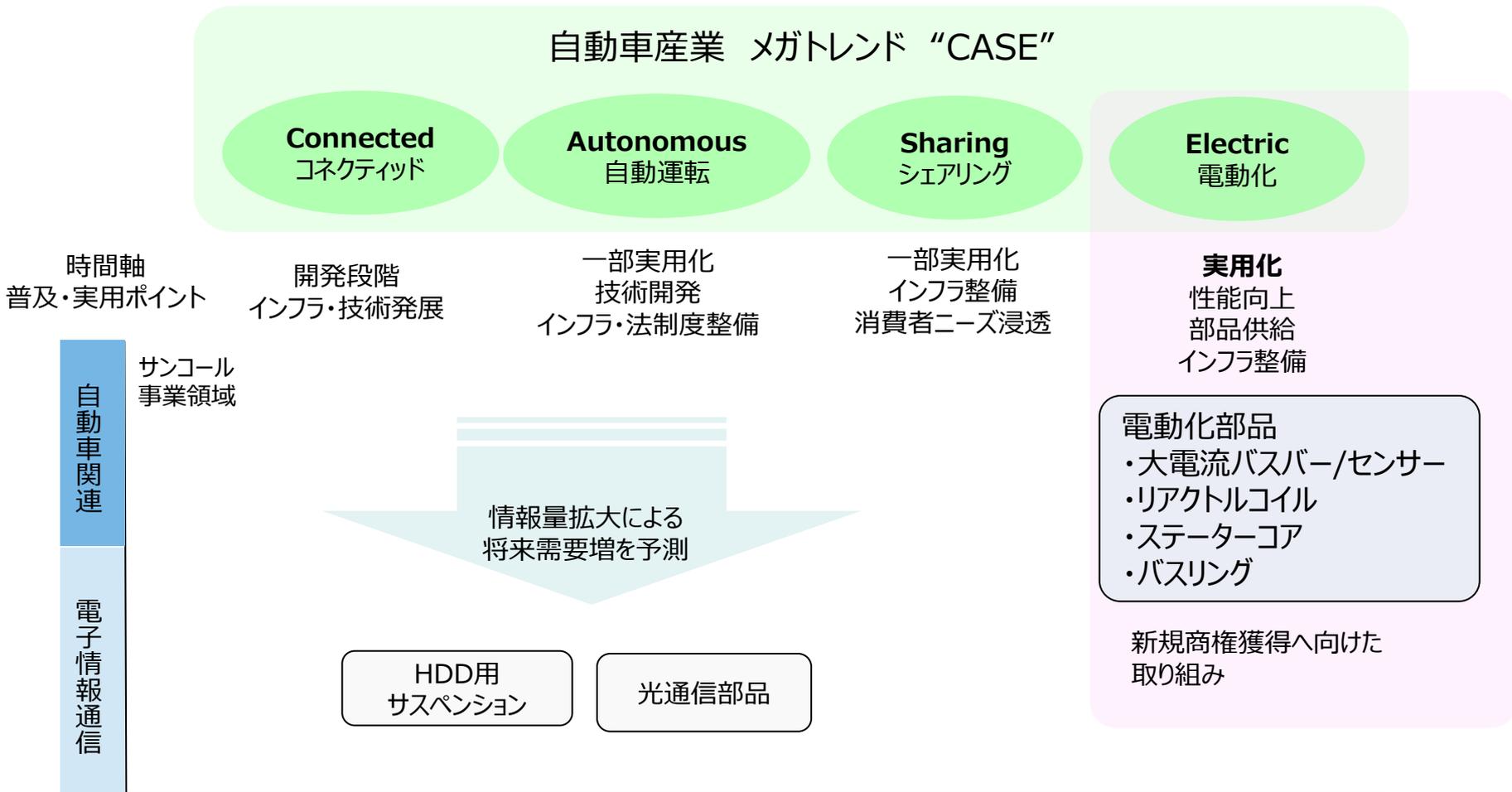
2022年時点でデータセンター記憶容量の約90%がHDD利用と予測
容量成長率：'17年比 約+400% (推測)

参照情報：WD社公開情報からサンコール作成

需要拡大が期待されるニアラインストレージ向け製品を主軸とした製品開発、量産体制の確立に経営資源を集中

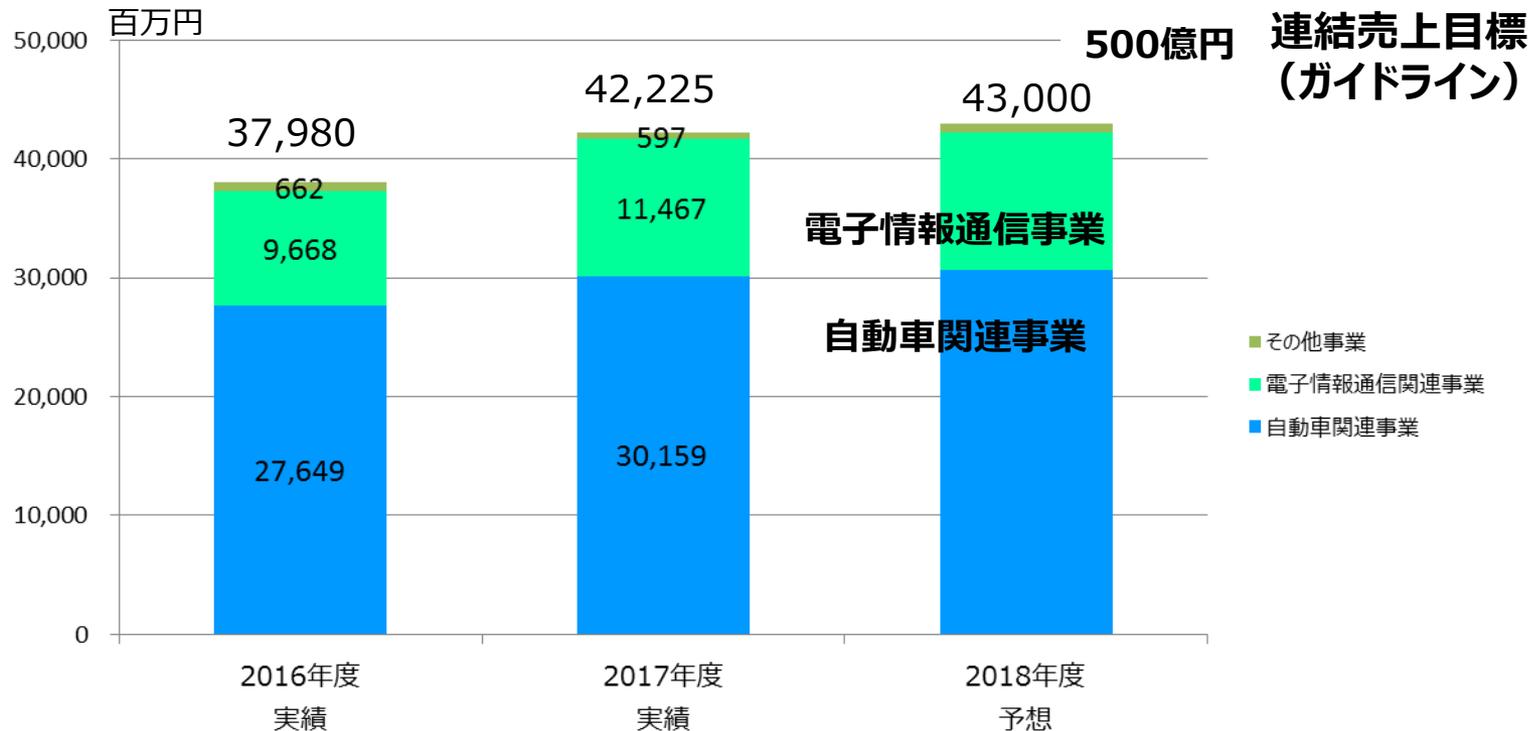
2. 中期経営方針 - 新規事業 -

自動車関連開発製品



▶ 業界トレンド、実用化段階に合わせ、自動車電動化部品の新規商権獲得へ向けて活動

2. 中期経営方針 — 定量計画 —



- 定量イメージ : 連結売上500億円 / 営業利益率 10% (将来目標)
- 配当金 (中期計画期間/2018年までの目標) :
 - 株主帰属当期純利益に対する配当性向
 - 25億円までの部分 25%
 - 25億円を超える部分 35%
 - 現行配当額1株18円の維持を下限目標とする

Fine Precision, Nano Solution

